

2 実践事例

幼稚園

<実践事例>

札幌市立きくすいもとまち幼稚園

たいせつにしよう じぶんのからだ



年長 学級活動時における保健指導

指導の
ポイント

○絵本やスライドを活用しながら、日常生活でみられる具体的な場面を提示し、嫌なことをされたり、言われたりした時には、「嫌だと言って逃げ、大人に話すこと」など、対応方法を理解できるようにする。

本授業の
位置付け

幼稚園教育要領との関連
第2章 健康
ねらい

(3) 健康、安全な生活に必要な習慣や態度を身に付け、見通しをもって行動する。

使用
教材

○文部科学省「生命（いのち）の安全教育」を基に幼児の実態に合わせて編集・作成したスライド資料を使用。



○絵本「だいじ だいじ どーこだ（大泉書店）」を使用。

指導
計画

時	主な指導内容	ポイント・工夫
1	○みんながもっている大切なもの	・絵本「だいじ だいじ どーこだ」と、文部科学省作成教材を基に編集・作成したスライド資料を使用し、体の中で特に大事なところと、自分や相手の体を守るための約束について理解できるようにする。
2 本時	○嫌な気持ちになったときの対応方法	・日常生活で見られる具体的な事例を通して、嫌な気持ちになる場面について考え、対応方法を知る。

※スライド・イラスト：文部科学省「生命（いのち）の安全教育」の教材より引用

本時の展開

本時のねらい

○自分の体を見られたり、触られたりして嫌な気持ちになったときの対応方法を知る。

学習内容・活動等	留意点等
<p>○「じぶんのからだのだいじなところ」について確認する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; text-align: center;">シャツやパンツでかくれるところ</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; text-align: center;">顔や口</div> </div> <p>○じぶんやともだちのだいじなところについて、約束を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; text-align: center;">見ない・見せない・触らない</div> <p>○友達とのかかわりを示す場面のイラストを見る</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前回覚えたことや約束について確認する。 ・恥ずかしさで笑いが出ることも想定しながらも「真剣モード」で話を聞くことを子どもたちと確認する。
<p>こんなとき、どんなきもちかな。どうしたらいいかな。</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 20px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・だいじなところを急に触るいたら ・トイレをのぞかれる ・パンツをおろしておしりを見せられる </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; text-align: center;">はずかしいよ</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; text-align: center;">やめてほしいよ</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; text-align: center;">わらわないで</div> </div> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">もし、そんなことがあったら…</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  </div> <div style="border: 2px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; text-align: center; margin-top: 10px;"> <p>「いやだ」・にげる・おとなにいう</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・身近で具体的な場面のイラストを示し、状況を捉えたり、登場人物の表情から気持ちを想像したりすることができるようにする。 ・大事な行動を声に出して何度も復唱し言えるようにする。
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px;"> <p>触られたり、見られたり、見せられたりしたら、嫌な気持ちになるね。嫌な気持ちの時は、「いやだ」「にげる」「いう」が大事だね。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・大事な約束などは、イラストなどで表し、教室に掲示してすぐに確認できるようにする。
<p>○大事な約束を声に出してみる。</p>	

本実践の成果と課題について

指導の展開

本実践においては、年長児の発達段階を踏まえ、生命（いのち）の安全教育の内容を無理なく理解し、日常につなげていくことをねらい、2回に分けて実施した。第1回では、体は全て大切であることを確認した上で、その中でもシャツとパンツで隠れるところ（プライベートゾーン）は特に大切なところであること、また、自分や相手の体を守るための約束として、自他の大切なところは「見ない・見せない・触らない」ことを理解した。第2回では、第1回の内容を踏まえ、日常生活でよくある場面をイラストや映像で提示し、登場人物の気持ちを考える活動を行った。大切なところを見られたり、見せられたり、触られたりすると嫌な気持ちになることを確認した上で、嫌な気持ちになった場合の対応方法として「嫌だと言う」「逃げる」「大人に言う」の3つを幼児との対話の中で整理した。

発達の段階に応じた指導内容

子どもたちが自分の経験と結びつけながら考え、内容の理解を深められるように、担任と事前に相談し、日常の園生活の中で実際によくみられる場面をもとにした具体的な事例を取り上げ、登場人物の気持ちを考える活動を行った。また、恥ずかしさから指導の内容に過剰に反応することも予想されたため、「体を守るための大切な話であること」「真剣に聞いてほしいこと」を事前に伝え、落ち着いて話を聞くことができる雰囲気大切にしました。椅子を用意することや、幼児同士の位置関係・座席の配置を教師が調整するなど、環境面の工夫も行っている。さらに、嫌な気持ちになった場合の対応方法については、幼児が具体的な行動としてイメージしやすく、知識として定着しやすいように、「嫌だと言う」「逃げる」「大人に言う」という簡潔な言葉で示した。

実践前後の幼児の様子

本実践を行う前は、プライベートゾーンを見せる・触る等の行為はふさわしくないと理解していても、遊びの延長や幼児同士の関わりの中で、つい相手の体に触れてしまったり、見せてしまったりする姿がみられた。指導後には、「見ない・見せない・触らない」という約束を覚え、自制する姿が増えている。また、つい触ったり見せたりしてしまっただけにも、教師が同じ言葉を用いて気付きを促すことで、幼児が自分の行動を振り返りやすくなっている。

行事との関連

【プール遊びとの関連】

プール遊びの時期は、一斉に着替える場面が増えるため、体の大切さについて考えるよい機会となる。自他の体の大切なところ（プライベートゾーン）は、「見ない・見せない・触らない」ことを確認するなど、自分や相手の体を大切にすることを意識につなげていきたい。

【不審者対応訓練との関連】

本実践では、幼児に過剰な恐怖心や不安感を与えないように、大人からの性暴力ではなく、園生活の中で起こり得る幼児同士の関わりを題材として取り上げた。しかし、性暴力から自分を守るための知識や判断力を身に付けることも必要である。本園では、不審者対応の訓練の機会に、映像教材の視聴等を通して犯罪被害防止についても取り組んでいる。